

武庫川と三田 歴史の街を訪ねる

第 71 回武庫川エコハイク

20130309.エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²。篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなと）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

2 級河川だが流域に阪神地帯を抱え流域人口では全国第 10 位である。「阪神間の母なる川」である。上流から三田盆地までは緩やかに流れ、中流には武庫川渓谷で V 字谷になる一風変わった川である。この渓谷は六甲山の隆起とともに武庫川に洗刻された先行河川である。ここに県営ダムを作る計画があったが豊かな自然環境を破壊することで反対する市民運動が持ち上がり、県は流域住民を含めて武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、ダムは検討に時間がかかることから、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

三田 古代寺院金心寺は壮大な寺院であったことがわかっている。昭和 7(1932)年の発掘調査の時、弥勒菩薩の胎内に「この地一帯を松山の庄とす。これを金心寺恩田、悲田、恵田の三田を持って三田と改む」とあり、これが三田の由来という。

JR三田駅 明治 32(1899)年阪鶴鉄道が生瀬から三田に延伸し三田駅ができたが、このあたりは市街地中心から離れた武庫川氾濫地であった。

三田市立三輪明神窯史跡園 三田青磁などの三田焼は 18 世紀の半ばから三田の地で始まり、ここで江戸時代後期から昭和 10 年ごろまで焼かれていた。1 号窯は県指定文化財。

三輪神社 南北朝時代松永弾正が奈良大神(おおみわ)神社を勧請されたという。

大井元の水 三輪明神の宮水は丹波街道に面してある湧き水。大きな水場がある。かつては飲料水として利用されていた。

お旅所 三輪明神のお旅所。御輿の神幸するときの仮の奉安所。

一乗寺跡 かつて一乗池があった、このあたりはよく切れる「正宗堤」があり、犠牲者多くでてこれを弔うため一乗寺が建立された。今は一乗寺公園となって、一乗寺地蔵尊が祀られている。

車瀬橋 三田市で最も古い橋、18 世紀末に描かれた「撰津名所図会」に「車瀬の蜚見」がある。「車瀬」この辺りで車の両輪のように瀬があったからという。今の橋は昭和 59 年架橋。

三田川 江戸時代武庫川は三田川と呼ばれていた。

札場の辻 江戸時代三田の中心地。三田町道路元標があり、丹波街道がここで曲がる。。

三田ほんまち交流館縁 三田本町の旧中西度量衡店。現在は市民文化活動の拠点。

妙三寺 慶長 7(1602)年妙法の道場として開山。慶長 17(1612)年日珍大徳和尚を向かえ開基。日蓮宗のお寺で本尊は壱塔両尊四菩薩。詩人三好達治が子どもの頃祖母と一緒に妙三寺で過ごした。門内と車瀬橋に詩碑がある。

正覚寺 浄土宗の寺。本尊阿弥陀如来。天正 11(1583)年時の領主山崎氏が小野村から

正覚山正福寺をここへ移し菩提寺としたという。観音堂には文禄・慶長の役に出陣した九鬼氏が持ち帰った聖観音が祀られている。

西方寺 永禄 2(1559)年宅原(えいばら・神戸市北区長尾町)に釈了善が開基。後に荒木村重の武将荒木氏が居城を宅原からここに移したときに西方寺も移った。本尊は阿弥陀如来。

金心寺跡 県立有馬高校中心に金心寺大伽藍があったが、荒木村重の乱で焼失し、その後屋敷町に移転、明治 2 年に現在地に移転した。有馬高校門内に礎石が残る。

心月院 宗旨は曹洞宗、本尊は釈迦如来、脇侍に文殊菩薩、普賢菩薩。天正 13(1583)年秀吉が有馬温泉に建てた寝殿を有馬則頼がここに移築し梅林寺としたのが起こりという。寛永 10(1633)年鳥羽から移封された九鬼氏が梅林寺を増改築し寺号を心月院とし、鳥羽の菩提寺乗安寺の覚雄是の和尚を開基とし、九鬼家代々の宗廟とした。

心月院墓地 心月院は九鬼家の菩提寺であり九鬼家の墓所が並ぶ。妻女の墓所もある。白洲家の墓所には戦後GHQとの折衝に奔走し、また戦後の復興に尽くした白洲次郎と日本文化の発展に貢献した夫人正子の墓が並ぶ。墓は共に梵字のみの表記である。

金心寺 もとは屋敷町周辺に大伽藍があったが明治 2(1869)年ここに移った。本尊は弥勒菩薩(国指定重要分財)。

三田天満神社 有馬郡の総鎮守、「撰津名所図会」に三田神祠として紹介されている。九鬼家代々の祈禱所となる。

有馬高等学校 県立高校。明治 29(1896)年旧三田城陣屋の二の丸跡地に地元の町村組合立農林学校創立。のち郡立を経て大正 11(1922)年県立三田農林学校となる。昭和 23(1948)年県立三田農業高等学校改称し、同年 9 月県立三田高等学校と統合、県立有馬高等学校となる。

三田御池 九鬼家の三田陣屋のあった三田小学校の南側にある。軍船を浮かべて訓練をしたという。

三田城址 天正年間荒木村重の武将荒木平太夫の居城。古城(ふるしろ)という。

川本幸民顕彰碑 川本幸民(1810~1871)は足軽町に生まれる。20 歳のときに藩主から江戸遊学を命じられ蘭法医学を修めた。物理化学にも傾注し写真術、マッチ、ビール、電信機などが国初の試みを行った。

元良勇次郎顕彰碑 元良勇次郎(1858~1913)は武家の家に生まれ、心理学を修め米国留学後、東京帝国大学教授となり、わが国近代心理学の基礎を築いた。

古城浄水場 三田市の浄水場。県営三田浄水場が完成するまでの主要浄水場。

三田大橋 三田市になって作られた道路と橋。大橋の周辺は浄水場の取水堰があり、九鬼水軍が訓練したという。明治初年篠山からの舟運の発着地。

旧九鬼家資料館 三田藩家老職の住宅で現在のものは明治 8 年建築の擬洋風建築である。県指定文化財。資料館として公開されている。

光明寺 もと金心寺の西坊という。真言宗の寺。境内に青面金剛を祀る庚申堂や筆塚がある。